

平成29年度

事業報告および決算

公立大学法人福井県立大学

平成29年度 事業報告

I 主要な取組み

第2期中期計画期間の5年目として、「オープン・ユニバーシティ」の実現や中期目標の達成に向けた取組みをさらに推進した。教育、研究、地域貢献、国際交流等のそれぞれの分野で取り組んだ主な事項は以下のとおりである。

1 教育

[教育の内容に関する事項]

福井県すべてをキャンパスとした教育活動に取り組んだほか、大学院に恐竜など福井の地域資源を活かしたコースや地域医療のニーズに対応したコースを新設した。

- ・ 包括的連携協定を締結している永平寺町や小浜市と連携し、「永平寺町学」や「ブルーツーリズム」など学生が地域に出向き現状や課題について考えるフィールドワーク授業を開講した。
- ・ 一般教育科目で「福井を学ぶ」を始めとする地域志向科目を開講したほか、大学連携センター（Fスクエア）において県内5大学共同で福井の魅力・特色を学ぶ講座を開講した。
- ・ 経済学部で、海外インターンシップの前後に心構え、海外事情、ビジネスマナー等を学ぶほか成果報告会を行うなど進路選択に役立てる授業を行った。
- ・ 生物資源学部、海洋生物資源学部、看護福祉学部で、平成30年度特別選抜入試から英語の筆記試験に代えてTOEICや英検等の試験結果を利用できる試験を実施した。
- ・ 恐竜などの生物進化や地球環境史等を学ぶ「古生物」専門種目、および組織を管理運営できる能力を備えた看護リーダーを育成する「看護マネジメント学」領域の平成30年度からの開設に向け広報活動を行うとともに入学者選抜試験を実施し、合わせて8人が合格した。

[学生への支援に関する事項]

就職ガイダンスや企業見学会等の開催など積極的な就職支援により過去最高の就職率を達成したほか、学生生活の充実に向けた取組みを進めた。

- ・ 就職率は99.1%と過去最高となったほか、県内企業見学会等の開催や公務員講座の実施などにより県内企業就職率が46.4%と前年を上回った。
- ・ 全新生を対象に、福井県の観光施設等を巡り魅力を体感するオリエンテーション合宿を実施したほか、新生を激励するための特別講演を入学式で実施した。
- ・ 在学生、同窓生、地域住民を招き桜や果樹の植樹を行い、親しみあるキャンパスづくりに取り組んだ。
- ・ ロータリークラブとの連携授業やゼミ・研究室単位での企業見学会を実施するなど、学生が自身の職業観を考える支援を行った。

2 研究

地域連携本部を中心とした地域との連携研究や福井が誇る恐竜研究の国際展開など、ローカル・グローバルの両面で研究活動を展開した。

- ・ 地域ニーズと本学研究シーズのマッチングなど地域とのさらなる連携を強化するため地域連携本部を設置した。
- ・ 植物ホルモンに関する研究成果など教員の研究活動について積極的に記者発表を行った。
- ・ 国内の自治体や中国の研究機関と連携し恐竜化石発掘調査を進めるなど、広く本学の恐竜研究を展開した。

3 地域貢献・国際交流

[地域貢献に関する事項]

科目等履修生や聴講生の聴講料等を減額したほか多種多様な公開講座を開催するなど、県民の学び直しを応援する取組みを実施した。

- ・ 平成 29 年度から、聴講料を 14,800 円から 5,000 円に、科目等履修料を 29,600 円から 14,800 円に減額し、前年を大きく上回る 83 人が受講した。
- ・ 気軽にコーヒーを飲みながら聴講できる公開講座を図書館ロビー（ライブラリーカフェ）や福井駅前のカフェ（サイエンスカフェ）で開催したほか、県や関係団体と連携し景観に関する公開講座などを開催した。
- ・ 創立 25 周年記念事業として、県内の様々な分野で活動している 10 名と元気福井の創生をテーマにシンポジウムを開催したほか、グローバル展開している県内企業の経営者を講師として招いた講演会を開催した。
- ・ 永平寺町から無償で借り受けた空き家を「新町ハウス」として開設し、地域との交流拠点として活用した。
- ・ 地域経済研究所において、飲食・食品製造分野などの県内企業の海外展開を支援した。

[国際交流に関する事項]

学生の派遣留学の支援や受入留学生に対する生活支援の充実を行った。

- ・ 平成 29 年度よりフィンドレー大学と相互交流プログラムを開始し、学生や教員の受入れ、派遣を行った。
- ・ World Café で、県内他大学の学生との連携による交流イベントや留学生と地域住民との交流イベントを開催した。
- ・ 留学生全員にチューターを配置し学生生活を支援した。

4 業務・財務運営

多様な媒体により大学の広報を積極的に実施したほか、計画的・効率的な予算執行に努めた。

- ・ 年縞の模様を採用し動画アプリを活用した大学案内や本学紹介動画を制作するなど、広報活動の充実に努め本学の魅力向上を進めた。

- ・ 財政運営面において、運営交付金が毎年 0.5%削減されるなかで、効率的な執行と財源の確保に努めた。

II 主な業務実績指標の状況

- ・ 一般選抜試験志願倍率（30 年度入学） 8.9 倍（公立大学平均 6.3 倍）
- ・ 就職率（29 年度卒業） 99.1%（全国大学平均 98.0%）
- ・ 科学研究費補助金 49 件（新規 14 件、継続 35 件） 74,000 千円
- ・ 受託研究費・共同研究費・奨学寄附金 63 件 112,404 千円
- ・ 海外への留学生派遣人数 75 人（長期 6 人、短期 69 人）

決 算 報 告 書

(収入の部)

〔単位：円〕

区 分	当初予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (B) - (A)	備 考
運営費交付金	2,243,062,000	2,243,062,000	0	
施設整備費等補助金等	80,375,000	36,250,171	△ 44,124,829	
授業料、入学科および入学検定料収入	1,044,089,000	1,072,346,075	28,257,075	
雑収入	68,615,000	88,129,395	19,514,395	
受託研究等研究収入および寄附金収入等	71,430,000	93,302,740	21,872,740	
目的積立金取崩	52,335,000	15,964,530	△ 36,370,470	
収 入 合 計	3,559,906,000	3,549,054,911	△ 10,851,089	

(支出の部)

区 分	当初予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A) - (B)	備 考
教育研究経費	826,878,000	764,586,198	62,291,802	
一般管理費	592,189,000	587,794,736	4,394,264	
人件費	1,988,743,000	1,887,867,267	100,875,733	
施設整備費等	80,666,000	36,263,171	44,402,829	
受託研究等研究経費および寄附金事業費等	71,430,000	91,064,588	△ 19,634,588	
支 出 合 計	3,559,906,000	3,367,575,960	192,330,040	
収 支 差 額	0	181,478,951	181,478,951	

貸借対照表

(平成30年3月31日)

[単位:円]

資産の部			
I 固定資産			
1 有形固定資産			
土地		4,964,863,000	
建物	4,390,572,330		
減価償却累計額	▲ 1,750,069,486	2,640,502,844	
構築物	144,570,890		
減価償却累計額	▲ 119,459,642	25,111,248	
機械装置	158,698,227		
減価償却累計額	▲ 87,276,386	71,421,841	
工具器具備品	1,999,287,171		
減価償却累計額	▲ 1,482,712,196	516,574,975	
図書		1,980,456,459	
美術品・收藏品		11,050,000	
船舶	13,141,275		
減価償却累計額	▲ 7,673,407	5,467,868	
車両運搬具	14,881,452		
減価償却累計額	▲ 14,140,230	741,222	
建設仮勘定		5,400,000	
有形固定資産合計		<u>10,221,589,457</u>	
2 無形固定資産			
特許権		10,258,693	
ソフトウェア		71,083,636	
電話加入権		1,398,600	
その他の無形固定資産		1,310,410	
無形固定資産合計		<u>84,051,339</u>	
3 投資その他の資産			
リサイクル預託金		86,480	
投資その他の資産合計		<u>86,480</u>	
固定資産合計			<u>10,305,727,276</u>
II 流動資産			
現金および預金		1,407,674,915	
未収入金		53,613,822	
たな卸資産		1,565,818	
流動資産合計			<u>1,462,854,555</u>
資産合計			<u>11,768,581,831</u>
負債の部			
I 固定負債			
資産見返負債			
資産見返運営費交付金等	823,569,627		
資産見返補助金等	150,227,106		
資産見返寄附金	84,424,809		
建設仮勘定見返運営費交付金	5,400,000		
特許権仮勘定見返運営費交付金等	6,386,588		
資産見返物品受贈額	1,569,653,155	2,639,661,285	
長期リース債務		167,623,839	
固定負債合計			<u>2,807,285,124</u>
II 流動負債			
運営費交付金債務	111,256,206		
預り補助金等	47,309		
寄附金債務	63,957,173		
前受受託研究費等	27,157,381		
預り科学研究費補助金等	45,888,667		
預り金	21,234,607		
未払金	396,957,116		
短期リース債務	115,088,140		
未払消費税等	2,383,500		
その他の流動資産	170,698		
流動負債合計		<u>784,140,797</u>	
負債合計			<u>3,591,425,921</u>
純資産の部			
I 資本金			
地方公共団体出資金		8,508,312,000	
資本金合計			8,508,312,000
II 資本剰余金			
資本剰余金	681,474,276		
損益外減価償却累計額	▲ 1,673,481,059		
資本剰余金合計			▲ 992,006,783
III 利益剰余金			
前中期目標期間繰越積立金	43,062,038		
教育研究等環境改善積立金	480,638,369		
当期未処分利益	137,150,286		
(うち当期総利益 175,790,658)			
利益剰余金合計		<u>660,850,693</u>	
純資産合計			<u>8,177,155,910</u>
負債純資産合計			<u>11,768,581,831</u>

損益計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

[単位:円]

経常費用			
業務費			
教育経費	315,848,311		
研究経費	463,401,452		
教育研究支援経費	311,462,614		
受託研究費	78,432,453		
受託事業費	7,711,650		
役員人件費	51,573,913		
教員人件費	1,649,447,374		
職員人件費	<u>392,530,853</u>	3,270,408,620	
一般管理費			397,515,266
財務費用			
支払利息		9,784,111	
経常費用合計			<u>3,677,707,997</u>
経常収益			
運営費交付金収益		2,491,403,328	
授業料収益		824,806,733	
入学金収益		104,857,000	
検定料収益		46,235,600	
受託研究等収益			
国または地方公共団体	15,314,958		
その他の団体	<u>64,584,354</u>	79,899,312	
受託事業等収益			
国または地方公共団体	7,098,651		
その他の団体	<u>613,000</u>	7,711,651	
補助金等収益			37,705,759
寄附金収益			7,598,589
資産見返負債戻入			
資産見返運営費交付金等戻入	103,398,175		
資産見返補助金等戻入	22,750,898		
資産見返寄附金戻入	9,582,365		
資産見返物品受贈額戻入	<u>8,951,983</u>	144,683,421	
財務収益			
受取利息	<u>228,565</u>	228,565	
雑益			
財産貸付料収入	38,464,148		
講習料収入	168,000		
物品等売払収入	265,018		
科学研究費補助金等間接経費	26,753,760		
その他	<u>3,965,006</u>	<u>69,615,932</u>	
経常収益合計			<u>3,814,745,890</u>
経常利益			137,037,893
臨時損失			
臨時損失			
固定資産除却損	<u>251,482</u>	<u>251,482</u>	251,482
臨時利益			
臨時利益			
資産見返物品受贈額戻入	<u>3</u>	<u>3</u>	3
当期純利益			136,786,414
目的積立金取崩額			<u>363,872</u>
当期総利益			<u><u>137,150,286</u></u>

利益の処分に関する書類

[単位：円]

I	当期未処分利益		137,150,286
	当期総利益	137,150,286	
II	利益処分類		
	地方独立行政法人法第40条第3項により 設立団体の長の承認を受けた額		
	教育研究等環境改善積立金	<u>137,150,286</u>	<u>137,150,286</u>

監査報告書

平成30年6月20日

公立大学法人福井県立大学
理事長 林 雅則 殿

公立大学法人福井県立大学

監事 寺尾明泰 

監事 寺田直樹 

私ども監事は、地方独立行政法人法第13条第4項および同法第34条第2項の規定に基づき、公立大学法人福井県立大学の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの第11期事業年度における業務の執行を監査いたしました。その結果につき、以下のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

私ども監事は、理事会に出席し、役員（監事を除く、以下同じ。）の職務執行の状況を聴取するほか、重要な決裁書類等を閲覧し、関係する職員から説明を受け、業務の状況を調査した。また、財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、利益の処分に関する書類（案）、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書および附属明細書、ならびに事業報告書および決算報告書につき検討を加えた。

2. 監査の結果

- (1) 財務諸表（利益の処分に関する書類（案）を除く。）は、当法人の財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況および行政サービス実施コストの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 利益の処分に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認める。
- (3) 事業報告書は、当法人の業務運営の状況を正しく示しているものと認める。
- (4) 決算報告書は、当法人の予算区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認める。
- (5) 役員（監事を除く）の職務執行に関し、不正の行為または法令もしくは規程に違反する重大な事実は認められない。

以上